

(1) 利用者数

実験期間中の利用状況は表表に示す通りであった。実験期間中の実利用者数は 48 人、延べ利用者数は 200 人であった。

表 実験期間中の利用状況

項目		実績値
稼働日数		24 日
実利用者数		48 人
延べ利用者数		200 人
平均利用者数	稼働日平均	8.3 人/日
	期間平均	5.4 人/日
運送回数		104 回
平均運送回数	稼働日平均	4.3 回/日
	期間平均	2.8 回/日

一度の乗車人数の割合を見ると、約 1/3 が相乗りで利用していた。

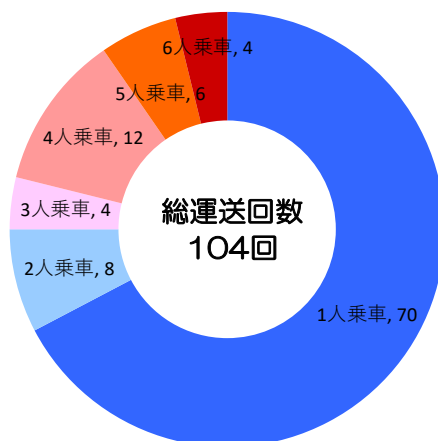
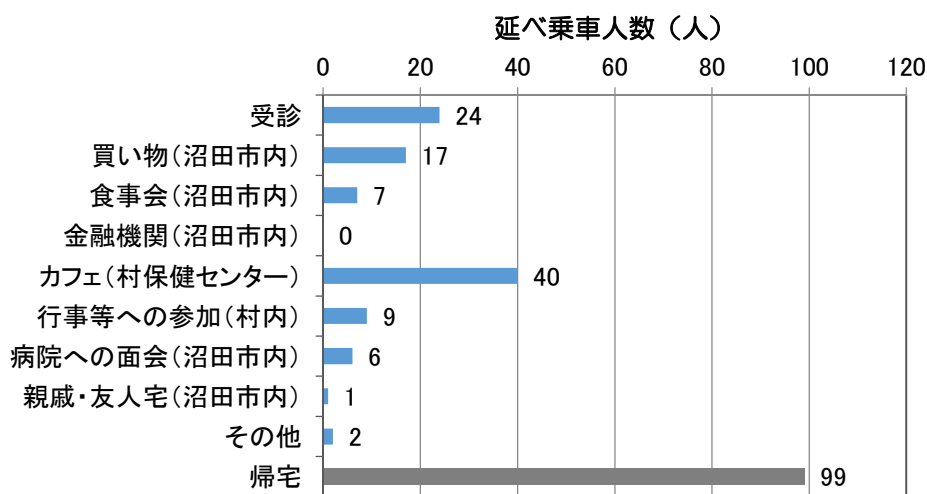


図 総運送回数に対する単独・相乗乗車の割合



乗車人数合計:205

※帰宅途中の立ち寄りが運送としてカウントされているため延べ利用者数よりも合計が多い

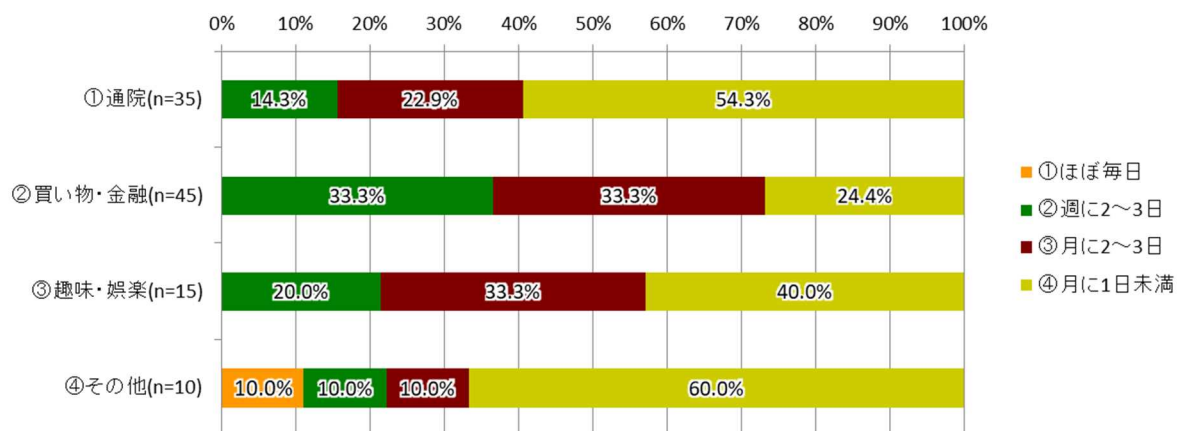
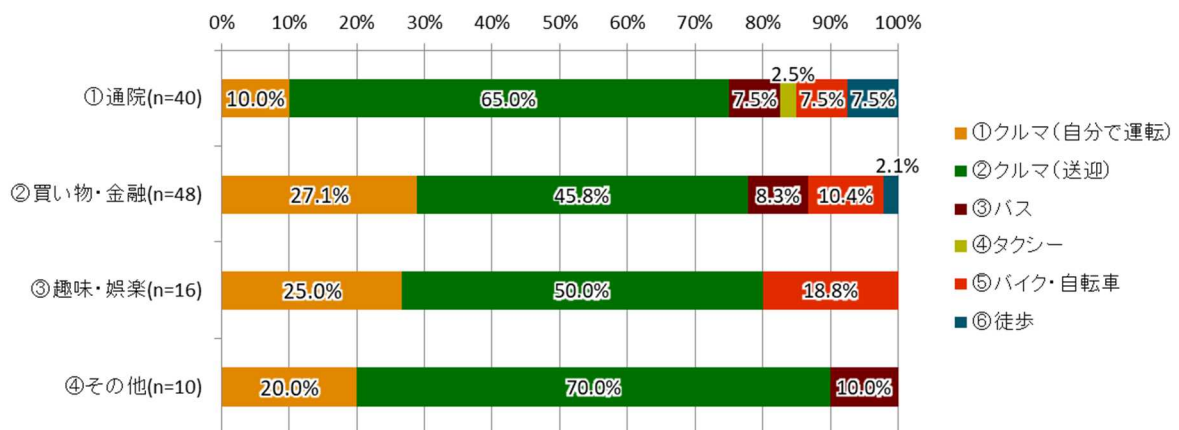
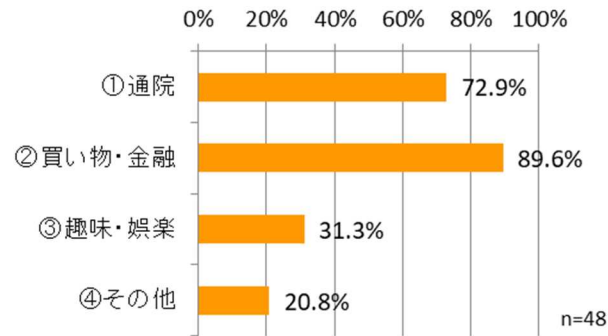
図 利用目的別乗車数

(2) アンケート結果

■ 【問1】 外出先

《よく訪れる外出先3つと、どのような方法でどのくらい出かけるかをお答えください。》

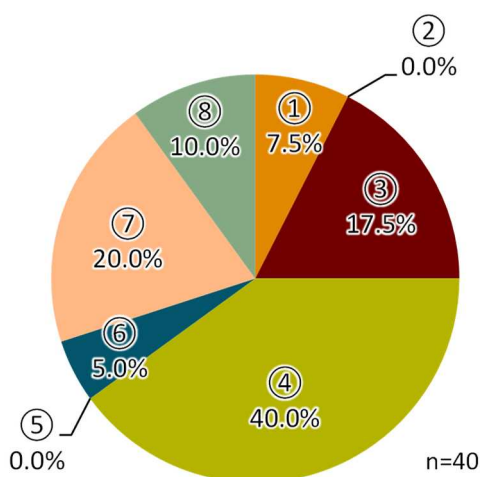
分類項目	回答数	割合
①通院	35	72.9%
②買い物・金融	43	89.6%
③趣味・娯楽	15	31.3%
④その他	10	20.8%
⑤無回答	19	39.6%
回答者数	48	



■ 【問2】 利用の理由

《ご利用された理由として、一番近いものを一つ選んでください。》

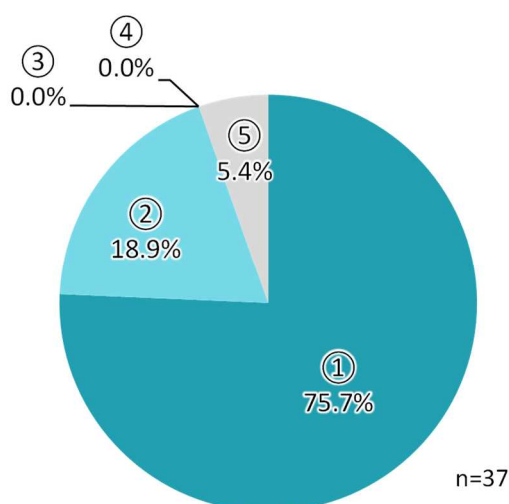
項目	回答数	割合
①いつもバスを使っているが、バスだと出かけた時間に合わないから	3	7.5%
②いつもバスを使っているが、バス停まで歩くのが大変だから	0	0.0%
③いつもクルマを運転しているが、運転に不安を感じる事があるから	7	17.5%
④いつも家族・知人の送迎に頼っており、自由に出かけられないから	16	40.0%
⑤いつもタクシーに頼っており、お金がかかるから	0	0.0%
⑥いつも徒歩・自転車でしか外出しないので、遠くへ出かけられないから	2	5.0%
⑦特に困っていないが、家族・知人に勧められたから	8	20.0%
⑧その他	4	10.0%
回答者数	40	100.0%



■ 【問3】 困りごとの解消

《おでかけサポートがあることで、上記で選んだ困り事は、解消されますか。》

項目	回答数	割合
①解消する	28	75.7%
②ほぼ解消する	7	18.9%
③あまり解消しない	0	0.0%
④全く解消しない	0	0.0%
⑤どちらともいえない	2	5.4%
回答者数	37	100.0%

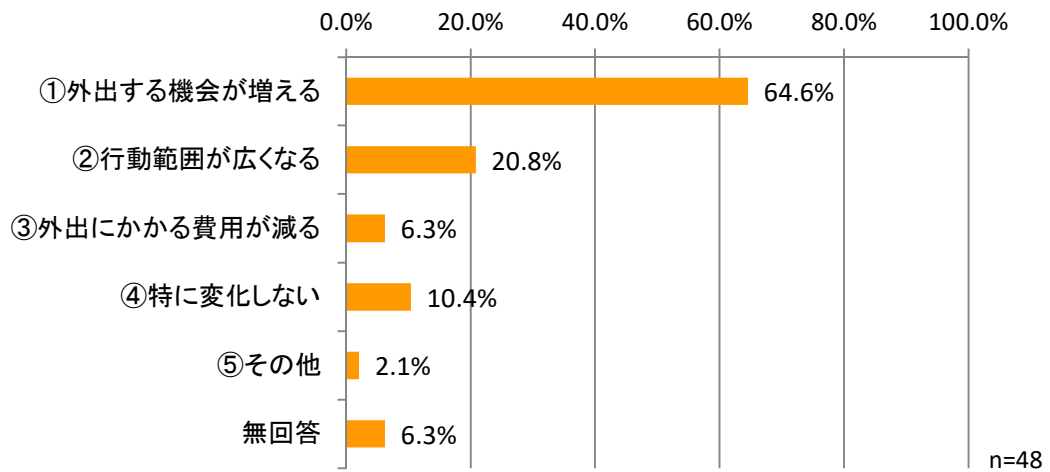


■ 【問 4】 外出状況の変化 (MA)

《おでかけサポートがあることで、外出状況は変化しますか。(複数選択可)》

n=48

項目	回答数	割合
①外出する機会が増える	31	64.6%
②行動範囲が広がる	10	20.8%
③外出にかかる費用が減る	3	6.3%
④特に変化しない	5	10.4%
⑤その他	1	2.1%
無回答	3	6.3%
総数	48	-

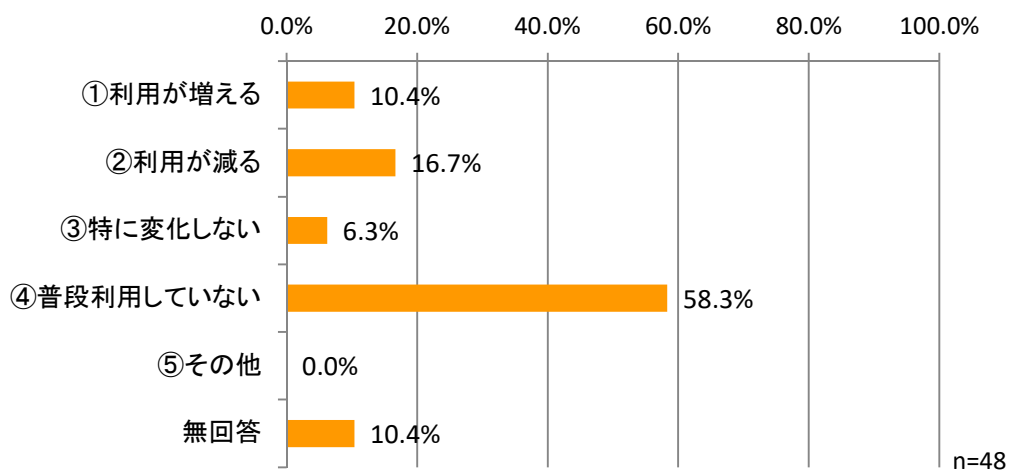


■ 【問 5】 バス・タクシー利用の変化

《おでかけサポートがあることで、バス・タクシーの利用は変化しますか。》

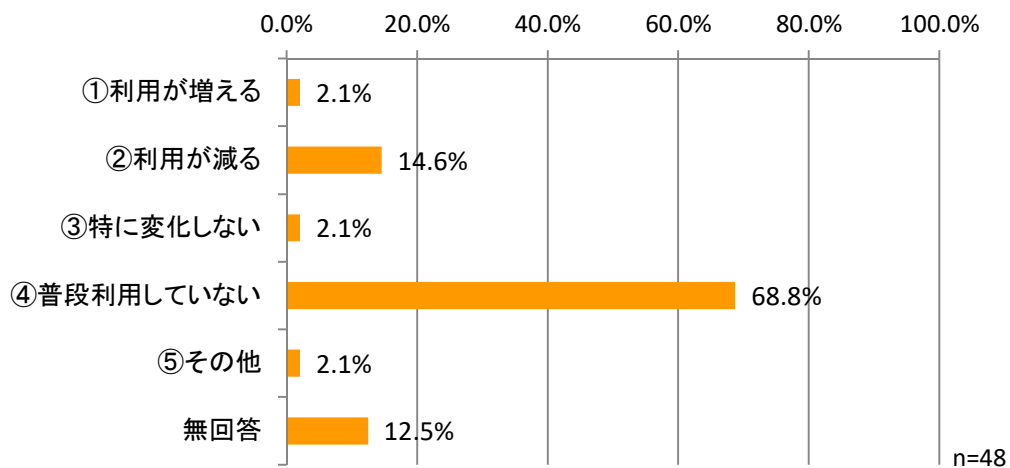
・バス利用の変化

n=48		
項目	回答数	割合
①利用が増える	5	10.4%
②利用が減る	8	16.7%
③特に変化しない	3	6.3%
④普段利用していない	28	58.3%
⑤その他	0	0.0%
無回答	5	10.4%
総数	48	-



・タクシー利用の変化

n=48		
項目	回答数	割合
①利用が増える	1	2.1%
②利用が減る	7	14.6%
③特に変化しない	1	2.1%
④普段利用していない	33	68.8%
⑤その他	1	2.1%
無回答	6	12.5%
総数	48	-

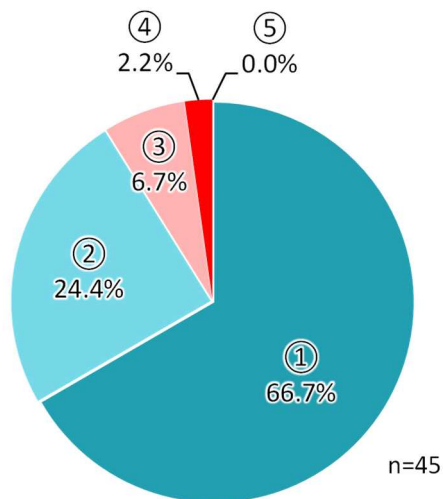


■ 【問 6】 おでかけサポートの必要性

《おでかけサポートの必要性についてお答えください。》

n=45

項目	回答数	割合
①とても必要	30	66.7%
②やや必要	11	24.4%
③今は必要ない	3	6.7%
④全く必要ない	1	2.2%
⑤その他	0	0.0%
回答者数	45	100.0%

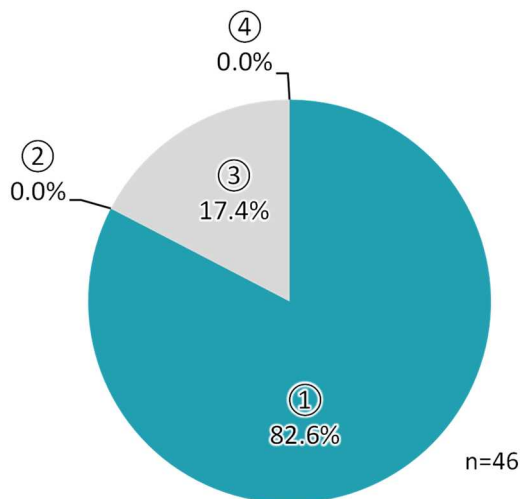


■ 【問 7】 有償運送となった場合の利用意向

《今回は無償ですが、人件費や車両代などの経費がかかるため、今後はタクシーの半額程度での運行を検討しています。有償運送となった場合、利用しようと思いませんか。》

n=46

項目	回答数	割合
①有償でも利用したい	38	82.6%
②有償なら利用しない	0	0.0%
③わからない	8	17.4%
④その他	0	0.0%
回答者数	46	100.0%



(3) 循環バス利用者数の変化

新たな移動手段の導入が既存公共交通へ与える影響として、川場村で運行している循環バスの利用者数の変化を検証した。検証は実証実験前と実証実験期間中の利用者数の比較により行った。

利用者数の集計分析の結果、日平均利用者数は図のようになっており、新たな移動手段の導入による既存公共交通の利用者の減少などの影響は見られなかった。

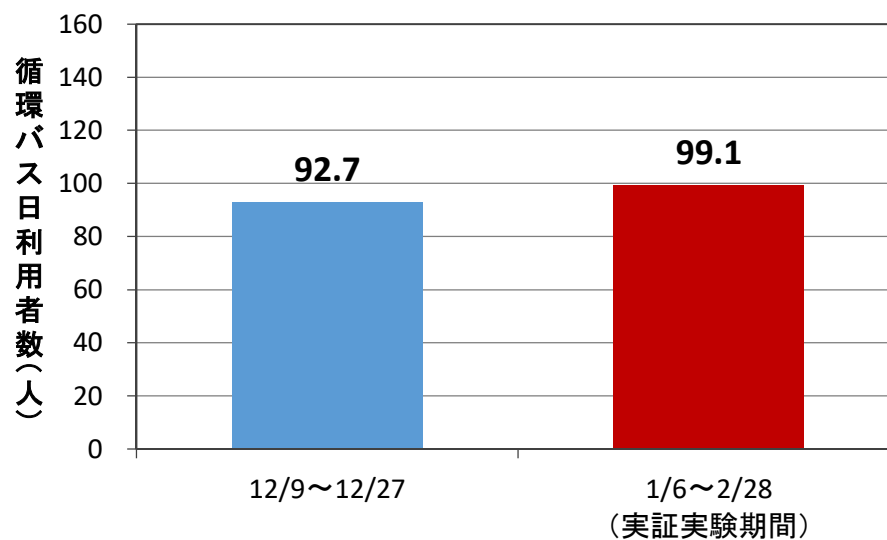


図 実証実験期間前と実証実験期間中の循環バス日平均利用者数